

一般質問

町政を問う

今回6名が質問し、
その要約を掲載しました。

綿引 静男 議員 13

1. 情報セキュリティ対策について
2. 有害鳥獣対策について
3. 道の駅かつら移転後について

高橋 裕子 議員 14

1. お祝い金・補助金の拡充について
2. 城里町PR大使について

藤咲 芙美子 議員 15

1. 補聴器購入補助の拡充を
2. 帯状疱疹のワクチン助成を
3. 開発公社の運営について

飯村 栄 議員 16

1. 災害対策について
2. 少子化、人口減少対策について

加藤木 直 議員 17

1. 闇バイト対策について
2. 町管理のインフラについて
3. アツマーレについて
4. 開発公社の運営について

猿田 正純 議員 18

1. 都市計画道路について
2. 七会町民センターの芝の管理について
3. 20周年記念式典について

☑次ページからの、顔写真下のQRコードをスマートフォンなどで読み込むと、一般質問時の動画が視聴できます。



🌻「町政を問う」の掲載記事は、質問者本人の寄稿によるものです。



わたひき しずお 議員
綿引 静男

情報セキュリティ対策 について



こちらから
動画が視聴できます

《町長》総務省が策定するガイドラインに基づき
セキュリティの維持管理を実施している

綿引 行政における

デジタル化が進む一方でサイバー攻撃が多様化している。しっかりとした防衛策を講じる必要がある。町の情報セキュリティ対策はどのようにになっているか。

町長 町が保有する

情報資産の機密性を維持するための基本方針である「情報セキュリティポリシー」において、情報セキュリティ対策の推進やリスク管理を一元的に行い、住民の皆様安心してサービスを提供できる環境を整えている。国が保管する住民基本台帳等の個人情報データや町が保管する行政情報データはバックアップ保管され、専用回線を使用することで安全かつ効率的なデータ管理を実現している。

綿引 町の情報セキュリティ対策の評価と課題についてどのようなように考えているか。

町長 総務省が策定

したガイドラインに基づきセキュリティの維持管理を実施し、最新のセキュリティ強化に努めている。そのために民間から専門の人材を雇用して対応している。

綿引 最終的にはヒ

ューマンエラーにより障害が発生する。安全で安定したシステムの運用を望む。

有害鳥獣対策について

《町長》様々な支援制度でしっかりと対策しているが、担い手不足が今後の課題である

綿引 近年イノシシ

等の鳥獣による被害は深刻化している。被害と捕獲状況は。

農業政策課長 令和6

年度は、被害額187万円、捕獲数はイノシシ260頭、小動物202頭となり年々増加傾向である。

綿引 被害防止のため

の対策と今後の課題は。

農業政策課長 防止対

策として鳥獣被害対策実施隊を編成し年間を通して捕獲している。また防御のための電気柵等の設置補助を行っている。課題として、実施隊の捕獲者育成が急務となっている。

道の駅かつら移転後について

《町長》川と親しみ、レジャーを楽しみ、人が集まるような町の拠点にしたい

綿引 来年リニューアル

予定の道の駅かつら移転後は、その周辺の整備も必要になる。これについてどのように考えているか。

町長 国土交通省の

事業である「かわまちづくり」として国と町が連携して周辺整備を行う。多目的、親水、自然体験、広場のそれ

ぞれのエリアとして整

備し、ジップラインの設置も検討したい。買い物をするだけでなく、川と親しみレジャーを楽しみ人が集ま



綿引 来年のオープ

ニングの際は、ぜひ、高島礼子さんによるテーパーカットをお願いしたい。

綿引 有害鳥獣につ

いて、現状認識と被害対策の取組状況について町長の見解は。

町長 手厚い支援制

度で有害鳥獣についてしっかりと対策している。令和7年から鳥獣対策実施隊員は6人（女性2人、40代男性を含む）増えて32人となるが、高齢化と担い手不足が課題であり、制度の充実を図っていかなければならない。

お祝い金・補助金の拡充について



たかはし ゆうこ 議員
高橋 裕子



こちらから動画が視聴できます

《町長》入学時のお祝い金は検討する 子ども食堂については7年度から社協で補助を行う

高橋 子育てが終わった世代の方から、現在の城里町は子育て支援が充実している。また、88歳以上の方には毎年お祝い金がある。この恩恵を受けられない世代には、元氣アップ振興券しかないとの声がある。例えば、町民健康計画として、町内3ヶ所（常北保健福祉センター・七会町民センター・ホールの湯）の健康増進施設を利用し、目標を達成した町民へインセンティブの支払いは出来ないか。

町長 是非、検討したい。

高橋 町民が元気で88歳からのお祝い金が受け取れることを期待している。



県では「健康いばらき21プラン」と題して6年から17年の12年間を計画期間として、“活力があり県民が日本一幸せな県”の実現を目指しています

高橋 8年度から北中学校の制服が変更になるが、その経緯を伺いたい。

教育長 以前から猛暑時は制服が厚地で辛い等の意見が多数あった。昨年11月上旬、見直しの声があり、11月下旬、在学生徒の保護者へアンケートを実施。9割の保護者から賛成の集計が出た為、12月上旬、制服検討委員会を立ち上げ、8年度からの変更を決定した。

高橋 制服変更に反対ではないが、もう少し早く周知すれば、バザーなど行えたのではないか。

高橋 入学時の祝い金拡充について伺う。

町長 入学時に3万円であるが、小中高と上がるにつれ費用がかかる。2年後、全国一律で学校給食の無償化が行われる。現在町で負担している部分をどう利用していくか検討する。

高橋 那珂西地区で4月から月に一度、子ども食堂がオープンする。補助についてどう考えるか。

町長 応援したいと考えていた。城里町社会福祉協議会より赤い羽根共同募金の助成事業として、7年度から補助を行う。

城里町PR大使について

《町長》大使の方々に講演などをお願いをしたいと考える

高橋 しるさと大使の平塚潤さんによる小学生への走り方教室など開催できないか。

町長 20周年式典で、町へ貢献したい考えを伺えた。是非、開催をお願いしたい。平塚さんに限らず、大使の方々に講演などをお願いをしたいと考える。

高橋 城里町PR大使のホーリーホック選手による中学校サッカー部の指導は可能か。

町長 町のPRにもなると考える為、先方に検討していただく。

高橋 プロの指導を受けられる事は、子供たちの財産になる。未来ある子供たちへの投資と考えて実現を願う。





ふじさく 藤咲 議員
ふみこ 芙美子 議員

補聴器購入補助の拡充を



こちらから
動画が視聴できます

《町長》 2年しかたっていないのに 変えるのはいかがかと思う

藤咲 補聴器購入補助の拡充について町は時期尚早と答弁している。当町の65歳以上は40%、75歳以上も20%超だ。高齢者が生き生き暮らせるのが目的であり時期尚早というのはいずれ得ない。補助額が1万円では低すぎる。3万円以上の補助金の拡充と認知症の発症を抑えるために健康診断に聴力検査の導入を再度求める。

町長 水戸市、笠間市、那珂市では実施していない。2年しかたっていないのにコロナ変えるのはいかがかと思う。

藤咲 現在県内10自治体まで広がっている。1万円の補助をしたからそれで済むわけではない。

带状疱疹のワクチン助成を

《町長》 今後検討していきたい

藤咲 带状疱疹ワクチンの対象年齢を50歳に引き下げ、1回接種は4,000円に、2回接種の不活化ワクチンは1万円の補助を求める。症状の悪化は苦痛を伴う。受けてほしい接種だ。

健康福祉課長 水戸市や笠間市では3,000円で、不活化ワクチンも6,000円である。足並みをそろえていく。任意接種の拡充は考えていない。

藤咲 町の25億円の財政調整基金を活用することを考えてほしい。

町長 今後検討していきたい。



開発公社の運営について

《まちづくり戦略課長》

議事録の閲覧・請求出来る者は、法で決められているので答えられない

藤咲 開発公社の運営には多額の指定管理料が使われている。R2年からR3年にかけてホールの湯の職員の給料が723万円上がっている。運営の公開を求める。この時、理事会や評議委員会でのような内容で話し合われているのか、議事録作成は定款にも定められている。議事録の開示を求める。

まちづくり戦略課長 議事録を含めた閲覧の対象者、請求することができるのは、評議員、債権者と法で決められているので答えられない。

藤咲 町財政を圧迫していると感じている。住民のためにどのような運営をしているのかチェックするのが議員の役目だ。公開できないというのは納得できない。



災害対策について

《町長》 県に早期に進捗するよう働きかける



いいむら 飯村 議員



こちらから動画が視聴できます

町長 江川は、県管理河川である。河床の浚渫、堤防の除草等を行っている。令和6年度も上流で行っているという。下流部も施行されるよう要望していく。江川の洪水の要因は、那珂川が増水した

飯村 那珂川の支川である西田川、江川の沿川は、令和元年の東



日本台風により甚大な浸水被害を受けた。西田川では、県で調整池、遊水池の計画があると聞くが、そこで伺う。

設置が、根本的な解決になるので国に要望している。

西田川については、令和元年の東日本台風時に、出口の水門が閉鎖され、氾濫を起こした。被害を防止するため、県が堤防の嵩上げ、調整池整備事業を計画している。

令和10年度までに着手する目標だと聞いている。町としても、早期に進捗するよう働きかける。



避難道

飯村 寶幢院下、梅の杜那珂西自治会の避難誘導路について伺う。

垂直避難という言葉があるが、法面を使って、最短距離で国道123号に出る避難路を造ってはどうか。

町長 梅の杜自治会は、令和元年、浸水被害を受けた。災害の後、自治会・区と協議し、当時通行困難となっていた自治会北側の町道1178号線を整備して徒歩で避難できるようにした。避難訓練などを通して、自治会の皆様方も新しい避難路について周知したい。

少子化、人口減少対策について

《町長》 子供への投資は、将来にわたり地域に大きなプラスになる

飯村 教育投資は、次世代の人的資本を高め、労働生産性の向上と技術革新をもたらす。そこで、中学校の制服、学用品の無償化について伺う。

町長 ご指摘のように、子供への投資は今だけでなく、将来にわたり地域に大きなプラスになるといえる。他市町村の先例事例も踏まえ、検討していきたい。





かとうぎ 加藤木 直 議員

闇バイト対策について



こちらから動画が視聴できます

《教育長》心を育てることこそ今必要なのではないかと感じている

加藤木 近年オレオレ詐欺や闇バイトなど青少年の犯罪が見受けられる。

学校での予防教育が必要なのではないか伺う。

教育長 中学校全生徒を対象に、警察より講師を招き非行犯罪防止教室を実施している。

加藤木 他者の痛みが分かる大人に成長してもらうために、どのような教育が必要かと思うか伺う。

教育長 一言で申せば心の教育、心を育てることこそ今必要なのではないかと感じている。

加藤木 他者を思いやる心の教育、子供たちが思い出に残る学校生活を送れる事を願う。

町管理のインフラについて

《下水道課長》保守点検を委託し適切に管理している

《水道課長》毎日直営での点検を行い、点検項目は文書化したもので記録を取っている

加藤木 埼玉県八潮で

下水道の陥没事故が発生し、大きな問題になっている。当町での簡易検査や点検等はされているのか伺う。

下水道課長 国交省より緊急点検の事務連絡が発出され点検の結果異常は見られなかった。

水道課長 緊急点検の結果問題はなかった。

加藤木 定期点検やメンテナンスに関する要綱要領など文書化されているのか伺う。

下水道課長 下水道法で規定されている。

施設については保守点検を委託し適切に管理している。

水道課長 毎日直営での点検を行い、点検項目は文書化したもので記録を取っている。また、老朽化更新計画に基づき優先順位をつけ更新をしているが財源難もあり次年度よりアセットマネジメント計画を策定し効率よく更新してまいりたい。

アツマールについて

《町長》2,000万円を超える効果があると思う

加藤木 アツマールのオープン当初、数億円

の経済効果があるとの説明を受けた。数年が経過し、町や地域産業に利益的影響がどれほどあったのか金額ベースで伺う。

町長 年間4,000

人の見学者がいる。山桜などで一人3,000円の買い物をする

と、200万円の経済効果が見込める。様々なものを足し上げると2,000万円を超える効果があると思う。

加藤木 子供も含め

一人3,000円を使うか大変疑問な数字だ。山桜の売上が上がっているのは墓園に來られた方々によるものだと皆理解している。

町長 山桜の売上は、3億円を超えている。複合的な要因によって急激な成長を遂げたと認識している。また、ホーリーホックの選手のランチを町内で提供している。年間1,000万円の経済効果がある。

加藤木 当初の説明であつた数億の経済効果には程遠い。

その他、次の質問がありました
・開発公社の運営について

都市計画道路について



猿田 正純 議員

《町長》 国道123号は県所管の計画道路だ



こちらから動画が視聴できます

猿田 城里町都市計画道路に123号のバイパスが入っている。水戸市のホームページで都市計画図を検索すると、計画が図面に落としとしてあり、計画通り粛々と進められている。町の進め方はどうか。

町長 国道123号は県所管の計画道路だ。

猿田 城里町が都市計画図を作るのは、国や県から押し付けられて作っているわけではない。町が123号のバイパスの必要性を持って県に要望したのだから、町が積極的に県に働きかける事を望む。近隣市町の進捗に遅れを取っているが、城里町の移動手段は道路しか無い町である。

七会町民センターの芝の管理について

《まちづくり戦略課長》

芝の管理は、一般財団法人城里町開発公社だ

猿田 七会町民センターの芝の管理は何処に発注しているのか。

まちづくり戦略課長 一般財団法人城里町開発公社だ。

猿田 その発注金額（指定管理料）はいくらか。

まちづくり戦略課長 6年度当初2,390万円。

猿田 実際何処が芝管理を行っているのか。

まちづくり戦略課長 市内の事業者と契約している。

猿田 その契約は何処と何処が交わしているのか。

まちづくり戦略課長 開発公社が神栖市の事業者に発注。

猿田 開発公社には芝の管理能力は無い。

なのに何故町が直接入札をしないのか。現在の契約金額は。

まちづくり戦略課長 開発公社とその受託先での契約のため、答弁は差し控える。

猿田 開発公社が手数料を取っていたとすれば、開発公社への資金提供に当たる。何故町からの入札では無く開発公社を通すのかを含め、手続きの透明性、公平性、財政負担の適正性を明確に公表する事を望む。

開発公社に対し、10万円以上の費用は全て町が負担。年間に指定管理料7,400万円を含め1億2,000万円位、町が負担して

20周年記念式典について

《町長》 コミセン経費と予備費で賄った

猿田 20周年記念式典総額はいくらか。

町長 本体費用は270万円。コミセン経費と予備費で賄う。

猿田 委託契約はいつ、金額は。

町長 1月に契約。金額は控える。

いる。赤字の垂れ流しで支払金不足分は、町民の血税から800万円を簡単に貰って支払う。そんな甘い考えで企業運営は無理。開発公社は、指定管理者から手を引いた方が良い。また、法務局に情報公開を求めたら直ぐに公開してくれた文書も、町は別法人だからと公開しない。「情報公開」や「予備費充用一覧表」を作らないのかと聞いても、やることは言わない。いい加減隠蔽体質から脱却すべきだ。

猿田 6月に高島礼子さんを呼ぶ質問が出た。12月の補正に十分間に合ったはずだが何故やらない。専決処分も出ない。私はこの手法に反対の意味で式を欠席した。